

2022年3月3日

各位

会社名 株式会社ファーマフーズ
 代表者名 代表取締役社長 金 武祐
 コード番号 2929（東証第一部）
 問合せ先 管理部部長 新谷 義信
 T E L 075-394-8600

2022年7月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえました結果、2021年9月6日に公表いたしました2022年7月期（2021年8月1日から2022年7月31日）の第2四半期連結業績予想につきまして、下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想値の修正

2022年7月期 第2四半期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	27,850	1,108	1,119	535	18.41
今回修正予想（B）	28,821	2,032	2,105	1,561	53.86
増減額（B-A）	971	924	986	1,026	—
増減率（%）	3.5	83.4	88.1	191.8	—
（ご参考）前期第2四半期実績 2021年7月期第2四半期	20,393	△81	△49	△446	—

2. 修正の理由

当社グループは、「中期経営計画2026」のテーマ「新価値創造 1Kプロジェクト」を実現するため、創薬、新規素材の開発及びそれに伴う研究人員の採用強化による研究開発投資、新商品及び主力商品への広告投資、M&A推進及びアライアンス構築に注力いたしました。

新商品では、累計出荷30万本を超えたまつ毛美容液及びロート製薬株式会社との提携により今期販売を開始したアイケアサプリメント並びに連結子会社化した明治薬品株式会社が新たに開始した通信販売事業が売上高の増加に貢献いたしました。

海外販売では、ニューモ育毛剤のECプラットフォーム等での販売が、新規事業として売上高に貢献いたしました。

さらに、商品ラインナップが増えたことで、より投資効率が良い商品への広告投資を行うことができ、その結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の増加につながりました。

以上の結果、第2四半期連結累計期間としては過去最高の売上高及び利益を記録し、前回予想と比べ利益が大幅に増加する見込みです。なお、2022年7月期通期業績予想につきましては、引続き来期以降の事業拡大を見据え、第3四半期以降も積極的な投資を継続する計画であり、現時点においては据え置いております。今後、投資効率を見極めたうえで、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以上